記者発表資料

平成２６年　３月２６日
東北地方整備局

「石巻地区かわまちづくり計画」により良好な水辺空間を創出

～　「かわまちづくり」支援制度に新たに登録　～

「石巻地区かわまちづくり計画」が「かわまちづくり」支援制度に新たに登録となりました。（平成２６年３月２６日付け）
石巻地区では東日本大震災からの災害復旧事業により、新たな堤防整備による安全・安心の確保を行うとともに、石巻市の『水辺の緑のプロムナード計画』など地域の復興まちづくり計画と連携することで、市民や観光客が賑わい集い交流できる水辺空間の創出を図っていきます。

○国土交通省水管理・国土保全局では、まちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ることを目的に、河川が有する地域の資源（景観・歴史等）や地域の創意（知恵）を活かし、官民連携の下で立案された実現性の高い水辺の整備・利活用計画（「かわまちづくり」計画）について、「かわまちづくり」支援制度へ登録しています。

○今回登録・変更になった箇所は以下のとおりで、計画概要は別紙のとおりです。

新規■宮城県石巻（いしのまき）市：石巻地区かわまちづくり（直轄）（北上川水系　旧北上川）
変更■山形県山形市：須川（すかわ）かわまちづくり（直轄）（最上川水系　須川）

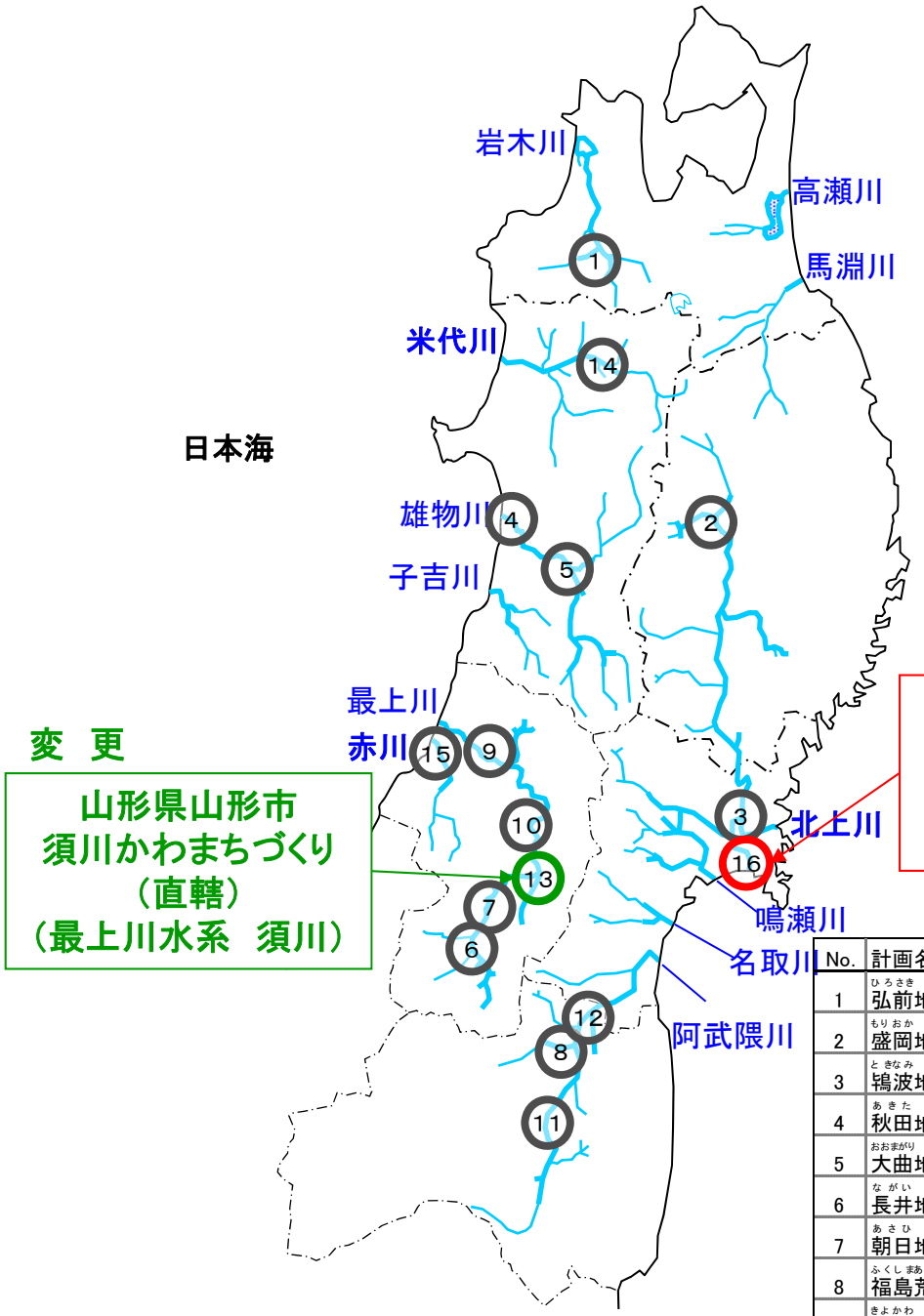
○なお、本件については、国土交通本省においても記者発表しています。
http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/index.html

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、山形県政記者クラブ＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　河川部
０２２－２２５－２１７１
河川環境課長　髙橋　忠良　（内線３６５１）
河川環境課長補佐　堺　善昭　（内線３６５２）

別紙

「かわまちづくり」計画登録箇所 【東北地方整備局管内】
（平成26年3月26日付け）



新　規

宮城県石巻市
石巻地区かわまちづくり
（直轄）
（北上川水系　旧北上川）

変　更

山形県山形市
須川かわまちづくり
（直轄）
（最上川水系　須川）

凡例
- 登録済
- 新規
- 変更

No.	計画名称	（所管）	登録年度
1	弘前（ひろさき）地区かわまちづくり	（補助）	平成21年度
2	盛岡（もりおか）地区かわまちづくり	（直轄）	平成21年度
3	鵠波（ときなみ）地区かわまちづくり	（直轄）	平成21年度
4	秋田（あきた）地区かわまちづくり	（直轄）	平成21年度
5	大曲（おおまがり）地区かわまちづくり	（直轄）	平成21年度
6	長井（ながい）地区かわまちづくり	（直轄）	平成21年度
7	朝日（あさひ）地区かわまちづくり	（直轄）	平成21年度
8	福島荒川（ふくしまあらかわ）地区かわまちづくり	（直轄）	平成21年度
9	清川（きよかわ）地区かわまちづくり	（直轄）	平成22年度
10	河北町（かほくちょう）かわまちづくり	（直轄）	平成22年度
11	本宮（もとみや）地区かわまちづくり	（直轄）	平成22年度
12	塙町（はなわまち）かわまちづくり	（補助）	平成22年度
13	須川（すかわ）かわまちづくり	（直轄）	平成23年度
14	根下戸（ねげと）地区かわまちづくり	（直轄）	平成25年度
15	三川町（みかわまち）かわまちづくり	（直轄）	平成25年度
16	石巻（いしのまき）地区かわまちづくり	（直轄）	平成25年度

「石巻地区かわまちづくり」（直轄・石巻市）

市町村名　：　宮城県　石巻市

対象河川　：　北上川水系　　旧北上川

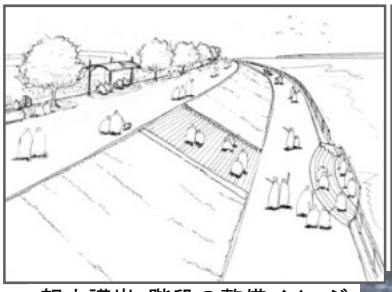
1．概要

石巻市では「石巻市震災復興基本計画」及び「水辺の緑のプロムナード計画」において、新たな堤防整備と併せてプロムナードを整備し、水辺と親しむことができる空間づくりを目指しています。　※プロムナード･･･散歩道、遊歩道

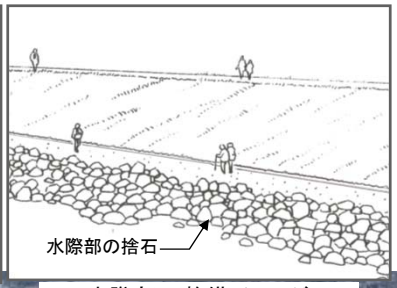
本計画では、震災からの復旧・復興（新たな堤防・護岸整備）や関連事業等と併せて、国土交通省が親水護岸や管理用通路等を整備するとともに、石巻市が拠点施設の整備や休憩施設等を整備することにより、災害に強く地域住民が安全に生活できる居住環境を確保した上で、市民や観光客が賑わい集い交流できる水辺空間を創出し、地域の活性化を推進します。

位置図





親水護岸・階段の整備イメージ



水際部の整備イメージ

【事業予定工程】

	H26	H27	H28	H29	H30
事業主体：石巻市					
事業主体：国土交通省 かわまちづくり					



川開き祭り（花火の打上げ）

「須川かわまちづくり」（直轄、山形市）【変更】

市町村名：山形県　山形市
対象河川：最上川水系　須川

1．概要

山形市では、都市計画マスタープランにおいて須川を自転車・歩行者ネットワークや、市民生活にうるおいと安らぎを与える空間として位置づけ、須川を活かしたまちづくりを進めていくことを目指しており、高水敷を多目的グラウンドや広場など、地域のレジャー・スポーツ空間として利活用が図られ、地域の住民に親しまれています。

本計画では、国土交通省が管理用通路の整備や高水敷の整備を行うことにより、治水、防災上の安全性を高めるとともに須川とまちとのネットワークを拡大させ、イベント開催等による利用者の増加を図り、地域の活性化を推進します。

【主な変更内容】

・かわまちづくりの整備内容の追加
　高水敷整正（グラウンドゴルフ場、ソフトボール場）
・事業期間の見直し

【事業予定工程】

（当初：点線　変更：実線）

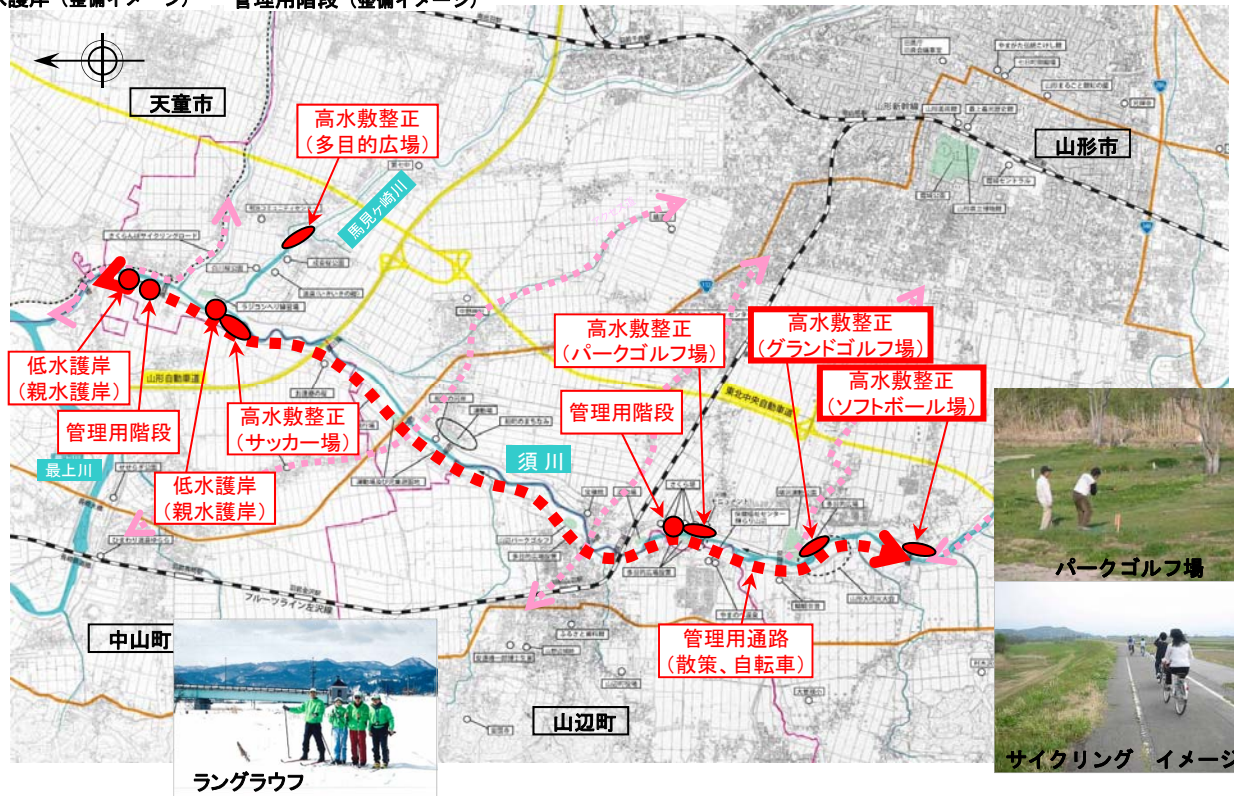
	H24	H25	H26	H27	H28
事業主体：山形市		●●●	●●●	●●●	
事業主体：国土交通省 かわまちづくり	●●●	●●●	●●●	●●●	

位置図




低水護岸（整備イメージ）


管理用階段（整備イメージ）



パークゴルフ場

サイクリング　イメージ

ラングラウフ

参考

かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

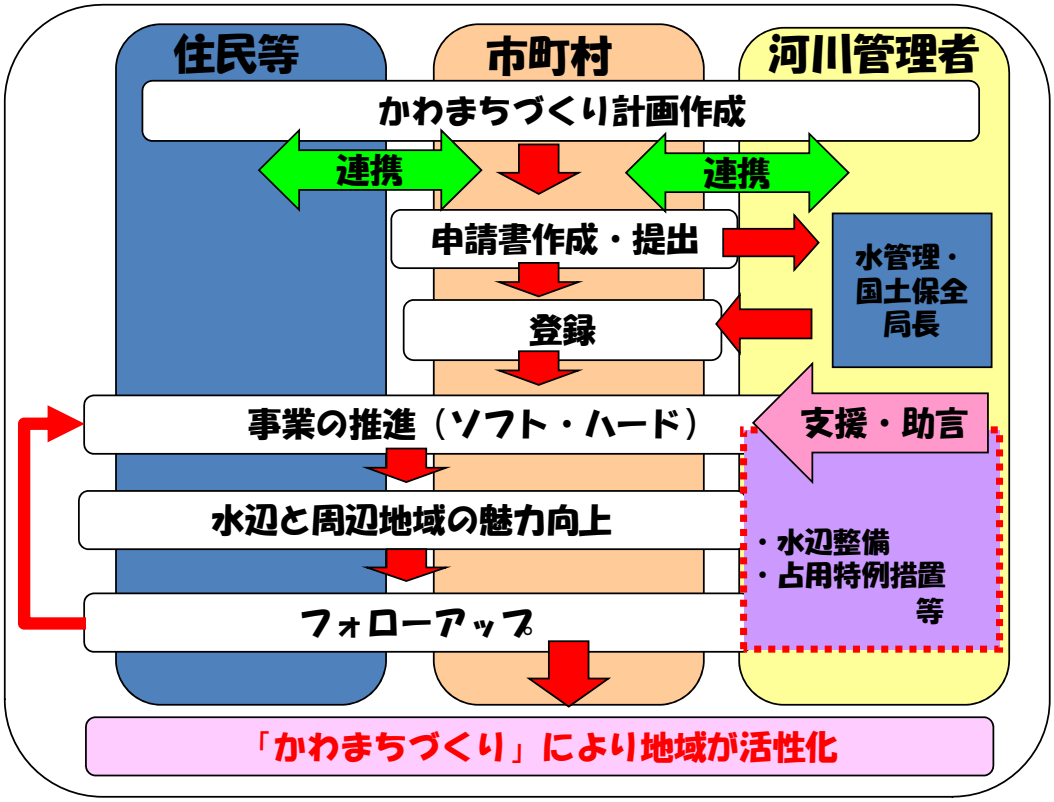
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用道路をフットパスとして活用
（最上川）



図：かわまちづくりの流れ